



第63回卒業式

沃野よくや



竹富町立
船浦中学校
学校便り
第43号

発行責任者
校長
仲田欣五

新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、時間短縮や簡素化するよう通達がある中、7日(土)9時30分より「羽ばたけ!未来の大空へ 楽しもう きみだけの物語(ストーリー)」のテーマの下、船浦中学校第63回卒業式を執り行いました。健康観察やマスク・アルコール消毒など、できうる対策を行った上で細心の注意を払いながら、卒業生の思い出に残るような卒業式にしたいという思いで、来賓の招待は取りやめ、卒業生、在校生、保護者(祖父母等を含む)、職員のみで実施しました。来賓や地域住民等の招待が叶わなかったのは痛恨の極みでしたが、おかげをもちまして、何とか滞りなく卒業式を挙行できました。

今年の卒業式は、卒業生への卒業証書授与を近くで見られるよう、舞台は使用せず、フロアで行い、座席も卒業生と保護者が向かい合う形での対面式で行いました。そのため、より近くで卒業生の表情や証書授与の瞬間を見ることができ、良かったのではないかと思います。環境整備担当の裕太先生の指導の下、1、2年生の頑張りもあり、花も今回はプランターから溢れるほど咲き乱れ、色とりどりの花で式を引き立たせてくれました。また、第2部では、崇先生が作成した「思いでのスクリーン」もとてもすばらしい仕上がりで、笑いあり涙ありと感動の連続でした。1、2年生たちが休みの日も出てきて仕上げた壁画もとてもすばらしいできれば、見る人の感動を呼んでいました。そのような思いも重なり、手前味噌ではありますが、とても良い卒業式になったのではないかと思います。1、2年生の皆さん、卒業式に向けた様々な取組、本当にお疲れ様でした。おかげで、3年生もとても気持ちよく卒業できたと思います。是非、船浦中での多くの体験、思い出を自信に変え、それぞれのステージで頑張ってくださいね。ご参加くださいました保護者の皆様、ご支援・ご協力本当にありがとうございました。紙面を借りまして心より御礼申し上げます。

